教室体験・教室授業参加をお勧めします。

なぜなら、国語は「うまい方法」や「よい情報」を得ればできるようになるというものではなく、それらをトレーニングして身につけることで、初めて力をつけることができるものだからです。そして、そのトレーニングには教室という集団の緊張した空間が最適なのです。

たとえていえば、空手の実力をつけるためには道場に通うべきであり、online 受講ではほとんど効果がないだろうというのと同じようなものです。

大手塾や学校は、情報・方法のレベルでダメですが、さらにトレーニングの必要性をまったく意識していない点でダメなのです。

日本人のほとんどが、「掛け算の九九」はできますが、その後算数の力には大きな差が開きます。なぜでしょうか？「掛け算の九九」あたりまではみんなで練習するのですが、その後はトレーニングをしないからです。

鈴木国語は、このトレーニングも重視します。このトレーニ

ングを受けること自体、できない人間にとっては一つの関門であるのです。空手の突きの練習や剣道の素振りなど基本練習ですら、できない者とできる者の差は歴然としています。また、できない者ほど、この基本の練習を嫌がったり、いい加減にしたりする傾向があるようにも思います。

できない者ができるようになるためには、まず、基礎トレーニングの段階で必死になってみんなについていくしかないのです。その意味でも教室という道場でトレーニングを受けることが大切なのです。

というわけで、教室体験・教室参加をお勧めします。
教室体験が可能な方は、できる限り教室で体験してください。
教室参加が可能な方は、できる限り教室で授業を受けてください。